

占いの真実を語る



風水占いに惑わされた人々



# 占いの真実を語る

## 風水占いに惑わされた人々

有限会社フォーチュンソフト

代表 天野雲海

アルルホームズ明るい株式会社

代表 安倍鴻祥

株式会社ゴールドストーリーム

代表 山下剛

## 目次

はじめに 7

占いには五種類の分野があります 10  
理論を信じるか、深い部分の体の反応を信じるか？ 13

## ある不動産業者の告白 18

第一章 格安物件の多くは家相にやられた家だった 19

第二章 火葬場の跡地に建った家 29

第三章 占いを信じるな、活用しろ 34

**風水師を信じるな？ 37**

**第一章 信じてはいけない！「風水のプロ」の落とし穴 38**

風水師の落とし穴 40

**第二章 「風水住宅」でまさかの失敗！ 46**

風水占いの本当の理論とは？ 51

**経営者に読んで欲しいビジネスコンサルティングの実際 56**

占いに頼ってしまう経営者の心理 57

■事例1 結婚相手の家族に支配された社長 58

■事例2 おかしな経営コンサルタント 77

知識だけ習得して経験しないとおかしくなる 94

人はほとんどの場合偶然に支配されている 98

月を使った運命学は当たるが当たっても喜べない 99

人と人が理解しあえない理由 100

魂の存在について 102

デジタル記憶装置で動いてしまう人 104

市販の書籍には書かれていない占いの根源的な知識 111

四柱推命占いは現代社会で生き抜く知恵を教えてください 112

十干は精神を意味します 113

十二支は癖を意味します 115

通変星は価値観を意味します 118

- 十二運星は行動様式を意味します 121
- 宿曜経占いは二十七分類のわかりやすい占い 125
- 西洋占星学・ホロスコープ占い 133
- 惑星は星座の欲求を満たす実働部隊 134
- 星座は精神的な欲求を意味します 136
- 紫微斗数推命占いは東洋式ホロスコープですしびとすうすいめい 139
- 十二宮の意味と診断方法 142
- 画面事例**
- 紫微斗数推命 148
- 宿曜経 148
- 四柱推命 149
- 西洋占星学 149

## はじめに

経済の仕組みが変わろうとしている大転換の時代がやってきています。金融（マネー）万能経済の時代が終わり、実体経済の時代になりつつあります。その転換点がリーマン・ショックでした。パナマから世界の富豪達の脱税に近いパナマ文章情報が漏洩して世界を騒がせています。ちよつと前は、元アメリカのCIA職員によってアメリカの機密情報が暴露されました。これまで大衆が知らなかったことが知られるようになったわけです。えつ世界を支配している連中ってこんなことやっているのという真実が次々と暴露されているのは、これまで経済を支配してきた仕組みが大転換されようとしているからです。

武力とお金のパワーで他国を脅かして来たアメリカ中心の時代が終わり、地球規模での協調が求められる時代になります。能力があれば認められた時代が終わり、**能力があっても性格が悪い人は認められない時代**になります。つづあります。学歴重視の時代が終わり、人物本位の時代になります。つづあります。国がなんとかしてくれるという国に依存する時代が終わり、国がやらなくても自分だけは先に行くという時代になります。お上の言うことを聞いていけば間違いがないという時代が終わり、自分で考える時代になります。つづあります。病気が病院に行つて医者が直すものという時代が終わり、病気にならない体を作つていく時代になります。つづあります。大企業のサラリーマンが偉いという時代が終わり、リストラされないう自営業者が偉いという時代になります。つづあります。年金なんて信用できないから長期投資で自己年金をつくるうという人が増えていきます。

そういった大きな流れの変化に対応できた人は、これから先、お金にも愛情にも不自由することはないでしょう。しかし、変化に対応できなかった人は、落ちていきます。生き方、考え方を変えない限り、どこまでも苦勞することになります。いっぽうで、生き方を勇気を出して変えた人、自分を改良させてきた人は、もう追い込まれることはありません。

占いの使い方も大転換の時代がやってきています。当たる、当たらないを求め時代は終わりました。当たるとか当たらないを求める感情がある間は、不安と恐れに支配されがちになるから、実際に良くないことが起こりがちになるわけです。占いをやったら、安心を得られるなら良いのですが、今の占いはやったら不安になるものが氾濫しています。筆者が師事していた占いの大家は、占いは信じるなという遺言を弟子達に残して亡くなっていました。不安になる占いを捨て、新しい自分発見の道具として占いを使い始めた人

は、運がよくなっています。筆者は、読めば読むほど、元氣と安心を提供できる占いを提供していきます。

占いには五種類の分野があります

・命（めい） 生年月日から天賦の性格や宿命や能力などを診断します。相性や未来予知も可能。四柱推命しちゆうすいめい、紫微斗数推命しびとすうすいめい、西洋占星学しやくようきょうがく、宿曜経しゆくようきやうなどがあります。それらを統合して診断する星平会海せいへいかいかいが最終奥義とされています。天中殺占いや大殺界占いみたいなものも日本にはあふれています。筆者からみれば読者を不安にさせる理論だけを捏造したように感じています。動物占いは四柱推命の一部分ですが読んで読者を不安にさせることはありません。個性学やバースデイサイエンスも四柱推命の一部です。日本では九星気学きゅうせいきがくも流行つ

ていますがこれは、奇門遁甲きもんとんこうの一部を拡大したものです。

・ト（ぼく） 方位や出来事の吉凶、例えば選挙に勝てるかどうか？を占います。タロットカードや筮竹占いや奇門遁甲などがあります。もともとは神の声を聞ける仙人のような人が使っていた術で霊感的な才能がないと使えません。

・相（そう） 家相や手相や姓名判断があります。風水占いもこの分野ですが、日本の風水占いはおかしなことになっています。もともとは風水地理学と言われ、土地選びの占いでした。この書籍では実際の土地の選定から住宅建築を請け負っている建築会社を経営している二名に協力して頂きました。現実の住宅建築で風水をうまく使っています。カーテンの色とか財布の色で運勢がよくなるというのは風水ではありません。

・医（い） 漢方医学のことです。パワーストーンなどの宝石によるつばやチャクラの刺激はこの分野の学問です。

・山（さん） 体操で健康を維持する気功などのことです。

この書籍は、茨城県つくば市でナンバーワンの住宅会社であるアルルホームズ明るい株式会社（アールルホームズ）の社長である、安倍鴻祥（あんぱい こうしょう）氏と、設計事務所と建築会社を主宰している風水建築家の、山下剛（やました つよし）氏の両氏に協力をしていただきました。

## 理論を信じるか、深い部分の体の反応を信じるか？

つい最近まで理論は偉いという風潮がありました。成功する理論。儲かる理論。人づきあいの理論。説得する理論。書店は理論書であふれています。しかし、2006年の夏から始まった百年に一度の金融危機をきっかけとして、それは終わったようです。ノーベル賞受賞者まで動員して、開発された高度な理論で裏づけされているはずの金融工学が単なる幻想であったことを人類は学んだのです。経済のことは、経済の理論では分からないことを学んだのです。経済学者は過去のことは百パーセント理論化できますが、未来のことは理論化できません。もし、未来のことが予知できるなら、経済学者の多くはリーマンショックで空売りを利用して大金持ちになれたはずです。しかし、だれも大金持ちになっていませんね。つまり、どの理論が正しいか？という発想では、

うまくいかないわけです。

これからは、頭で考えた理論ではなく、深い感情や体の反応（直観）で感じることを信じる時代に変化します。理論はだれが作ったものかといえば、人が机上で作ったものです。実験しなくても理論はつくれます。筆者は、こんな結果を出すような理論を作って欲しいと頼まれれば発明できます。しかし、体の五感や深い感情システムはだれが作ったものかといえば、神が創造したものです。どちらが、より正確な判断を下せるでしょうか。賞味期限内の卵を買って食べたとしましょう。理論的には腐っていないので、大丈夫なはずですが、実際は腐っていることもあるでしょう。理論はこのように常に間違えます。しかし、腐った卵を食べれば、舌がおかしいと感じます。無理に飲み込んだら、下痢になって早く体外に排出しようとしています。このように体の反応は間違っています。インフルエンザのウイルスが体に入ってきたとき、人間が作っ

た予防接種をしていても、その効果は完璧ではありませんね。しかし、体はウイルスを殺そうとして高熱を出します。間違いない反応をします。しかし、人間の作った薬は、熱を下げようとしてかえって体をおかしくしてしまいました。

さて、占いも人間が作ったものです。正直言って机上で発明され、実際の人間観察で実証されていない理論も多く含まれています。占いを研究して三十年になります。太陽系の惑星の運行システムでさえ、人間は、まだ正確に計算することができません。未発見の惑星もあります。占いというのは、太陽系の惑星運行を示す暦にもとづく学問です。しかし太陽系の惑星の運行システムにまだ無知な人類は、完璧に正確な占い学を発明できる段階にはありません。古代の人は、それでも体で感じたことをベースにして、占いという学問を発展させてきましたが、現代人は、体で感じることよりも、理屈のほう

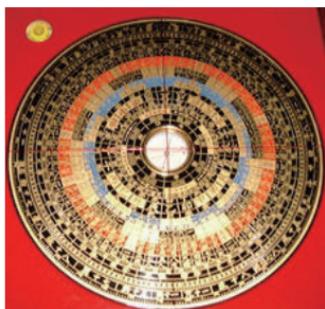
を信じる人が多いので、占いは使えない学問に退化してきています。

「考える」ということは、頭だけでグチグチと結論の出ないことをこねくり回すことだと勘違いしています。古代の人は、肉体や深い感情で感じたことを整理する作業を考えると呼んだのです。

理屈だけを追いかける人は貧乏になる時代です。所詮は人間が作ったものが理屈ですから、それを追いかけるようでは成功しません。自分の肉体を使って心の深い部分や体全体でその反応を感じる人は、幸せになる時代です。神が創った間違いない感情や肉体の反応を信じるのですから、成功への道を外すことがないのです。

科学的アプローチとは実験を繰り返し、その結果を分析することです。実験を繰り返さないで占いの理論がこうなっているから、こうなるという発想では幸せになれません。さて、四国の建築業者であり風水師の方から、面白

い原稿をいただきましたので、これから紹介したいと思います。



風水羅盤

## ある不動産業者の告白

株式会社ゴールドストリーム

代表 山下剛（やましたつよし）

## 第一章 格安物件の多くは家相にやられた家だった

「とりあえずビール」となるのは、居酒屋でよく見られる風景。何を飲みたいかは、さておきメニューを見て相場より安いのをじっくりと探して頼みます。相場より高ければ躊躇せず平気で水をオーダーします。これは、私の父の話です。大正生まれの父は、地域で一番長く不動産業を営んでいます。旧制高校を出て数年間税務署につとめ、その後は不動産屋を開業しました。県内で二番目の開業だそうです。その父は、とにかく安いモノが大好きなのです。安いというより「格安」にしか関心がないのです。相場よりずっと安いものだけ買うのです。

不動産に格安は、あります。ただし、相場より安い不動産には、必ず何ら

かのワケがあります。つまり、父が探していた物件は、必ずワケあり物件です。そのワケありとは、住宅ローンが払えなくなつた「競売物件」なのです。事業や仕事があまくいかずに経済的に破綻してしまい差押えられて競売になつたという家です。日本の1970年代は、高度成長で経済的に国民全員にイケイケの高揚感が、もれなくもたらされたイメージですが現実とは違います。高度成長の波に乗れずに差押え、競売も多数出たそうです。高度成長の「光と影」です。この「影」から仕入れて「光」に売るといふビジネスモデルを父がしました。

競売物の家を格安で買い取り、簡単なリフォームをしてすぐ売却する商売です。前の所有者とは一度も会うこともなく銀行や法務局から書面だけの情報で入札します。転売先は、「格安物件を探している人。」です。父から買うお客さんの用途としては、もっぱら借家です。購入者が自分で住むことはあ

りません。当時は一戸建て借家の需要が多くありました。事業で成功した人は、次は、不労所得を稼ぐ大家さんになろうと、積極的にどんどん格安住宅を家賃収入などの投資目的に買っていました。立地と価格さえ間違わなければ即売状態です。不動産価格が下がることなどありえないと日本全体が、信じていた時代です。大家さんは、自分が住むわけでないので不動産の値上がりを期待して気軽に買っていたのです。

そのとき私は小学生でした。よく父につれられて物件探しに行きました。もちろん格安物件ばかりです。しかし、父が連れて行ってくれる競売物件の家は、とてもおもしろい家が多かったのです。これらの家の訪問は子供にとつて探検ごっこでした。いまでもはつきり覚えている四国のある物件の話を書きます。

外観は、黄色いモルタルの家。普通あるような所に玄関はありません。堀の横にある狭い通路を通り勝手口と間違うような場所に行くと、なぜか玄関があります。玄関のドアを開けると驚きました。同じデザイン同じ大きさのドアが4枚あって、居間がどこなのか、間取りがさっぱりわからないのです。まるでテレビゲームの雰囲気です。一つのドアを開けるとトイレがあります。子供ながら用を足している時に来客があつたら「こりゃ丸見えだな、恥ずかしくて出られないなあ」と思いました。玄関から便器が丸見え状態なのです。おそらくこの家を設計した人は、トイレの位置は、家相上の鬼門から外すことだけに執着してしまい視線などは全く考慮しなかつたのでしょう。もう一枚のドアを開けてみると台所でした。じゃあ残った二枚のドアは何なのかというところ、やっぱり台所のドアなのです。小学生ながらどう考えても使いにくい家でした。風通しも悪いし日当たりも悪い部屋が多くありました。

あちこち探検を終えて父に聞きました。どうして「この家は、こうも変なの？」父は、ほつりと言いました。「家相かそうにやられたんだな」「か・そ・う??」そのとき初めて聞きました。「こんな家になったのは、建て主が自分で使う家なのに、自分自身で使い勝手を考えず、家相の占い師にすがって建ててしまつたせいだ」。続けて「だから剛、家相は、怖いことになるからな、覚えておきなさい。」と言いながら、父は毎月のように「家相にやられた格安物件の家」の仕入れに熱心でした。

ここまで読んだあなたは「えっ家相って怖いのか?」と思われたのではないだろうか?

そうです。家相は江戸時代の末期から、人の恐怖心を刺激するための道具として使われやすいものなのです。「恐怖心を刺激されて生まれた家相」の話をします。現代は、不安の時代だと言われていますが江戸末期は、今とは比べものにならないくらい日本中不安でした。得体の知れない黒船により300年続いた世界がある日を境にして突然ひっくり返るのです。

しかし、時代を問わず「儲けるのが天性の輩」がいます。幕末にもいました。有名な話だと金や米を何倍にも値をつり上げ儲けた商人。さらには、ほとんど知られていない、驚愕の悪徳ビジネスもで生まれました。情報など全くなく不安になった多くの人たちは、占い師を頼りにしてしまつたのです。現在の世でも実は、占い師のメニューでもっとも高額なのが「家相」なのです。私も、工務店を経営していましたから、家相の相談はずいぶんありました。

不安な人が多いほど商売になるのが占いです。この特需チャンスをなんとか生かしたい。とはいうものの、当たるも八卦とぜい竹をチマチマやっている場合でない。もっと簡単に早く儲かる方法を、とあみ出したのがこの家相ビジネスです。「どうもあなたの家に災いがあるようなので家の間取りを書きなさい。」なにやら磁石や表などを見て（この表やツールは、後に出てくる名前の売れた家相の占い師が制作したもの。）「これは、主人早死の相で子の縁薄く財を失い家系は途絶える。」驚いた客は「どうすればいいのでしょうか。」なんとか助けてください。「その言葉ができればもうこっちの思う壺です。したり顔で「このくらいの凶相になってしまおうと私には、荷が重すぎるので、家相の権威である占い師をご紹介します進ぜよう。費用はそれなりにかかりますがよろしゅうございますな。」

どんな家でも、いちやもんの理論を捏造して、凶相の家にしてしまいます。理論など、その場で開発すればいいのです。結果が悪いように出る理論を開発するのは簡単です。「家相では良い家は建たない。」が工務店で実際に家を建築している人の常識です。ちまたに広まっている九星を使った一般的な家相で家を建てる場合、八角形の家相盤を家の中心に当てて各部屋を出してそれをパズルにし間取りをつくりまします。家相ルールを忠実に守ると、とても住めるようなプランにはなりません。「実はここがみそ。家相盤では建てられない間取りができない。」まともには建てられない間取りに悩んだ顧客は、家相の権威を紹介されます。

実は、この家相の権威という先生は、どんな家でも凶相の家にして、利益

を出すビジネスモデルを発明した元締めです。すぐるお客を前にしてこの權威ある先生は、こういう「鬼門に玄関、裏鬼門に台所。それに本家の棟より母屋が高いのは一家離散の悪相と出ている。」「本来ならここには住めない。しかし、これほど悪くなったには因縁がある。まずは先祖供養に問題がある。いまの仏壇を変えれば運氣が変わる。」高級な仏壇、祠を建てて祭れ、などなど物売り込みます。

これが私の父の時代に行われていた家相ビジネスの実態です。現在でも行われている靈感商法のルーツですね。だから、家相理論を信じて家を建てることはナンセンス。不思議なことに、脅かされやすい人ほど、家相を信じます。脅しに屈しない人は家相を信じません。だから、成功します。

父が行っていた不動産取引は80年代に大きな法律改正があり、業者が知

り得た情報は全て書面にして購入者に知らせなくてはならなくなりました。それまで父は、ネガティブな情報は、聞かれたら正直に言いますが、あえて言うことはしませんでした。あるとき、昔の処刑場で現状更地で取引の際、父は正直にこの事を書面に書いたため契約直前にキャンセルされてしまい結局は同業者が購入し、処刑場の事は、一切書かずに大手分譲マンション業者が建築してしまいました。

ワケあり物件のワケを詳細に書く父は、これ以上この商売は、続けられないとこのビジネスから撤退し賃貸仲介に軸足を移しました。しかし、今では、このビジネスモデルはすっかり定着しました。この競売転売ビジネスだけで上場した企業もあります。もちろんワケありのワケは書面には書きません。

## 第二章 火葬場の跡地に建った家

建売のチラシの物件の多くは実は、仕入れを競売でしています。ワケありかもしれない更地を入札で購入して家を建てて販売するのです。更地なら、なにも問題なんかないと思うのは素人です。ある休日、新聞折り込みのチラシを見ていました。「緑あふれる丘の家」というタイトルに興味をもった私は物件案内の地図を確認しました。ところが、わからない。いくらみてもこんな丘あったかな・周辺には土地勘あるのですがピンと来ないのです。実は、それには、理由があったのです。この丘は、決して目立っては、いけないのです。この物件販売の営業をしていた友人から後に聞いた話です。

当時友人は、価格が圧倒的に安い物件を掲載したチラシで集客し、たった一日の内覧会で完売させてしまうという事で業界では有名な業者の営業マンでした。ある内覧会での話です。小高い丘の頂上に建っている築後4年という滅多にないピカピカの物件を競売で入手。なぜか競り合いがなくスムーズに落とせたそうです。チラシでは、いつも外観の写真撮影に悩みますが今回は、周辺に一軒も家がなく、まるで外国の草原の家のような写真が撮れました。新しい物件なのでリフォームなしで売りに出せる上物物件です。難点は、丘にたどり着く道が狭い事でしたがお客さんには、安い価格で納得してもらおうというもくろみです。

内覧会初日の朝八時に拭き掃除などをして準備をしていると、窓からお客さんが行列をつくって丘に登ってきているのが見えました。「開催時間は朝九時からなのにめっちゃ早いな。しかも何この行列！」十人くらいの団体客です。

初めての事です。「それにしてもクルマでなくどうして歩いてくるの？」まあいいや、ポジティブシンキングな友人は、急いで身なりを整えました。この人気なら昼までに契約できて早く帰れるぞとワクワクして玄関で待ちました。近くで見ると普段着の人や野良仕事の服装の人もいます。どうも近所の人が集まってきたようです。「近所でこの人気なら折り込みチラシなしでも近隣営業だけで売れたかもしれないな」と、営業モードにスイッチが入った友人。

外に出した受付台なんかには、目もくれずドンドンお客さんが勝手に家の中に入って行きます。「見せてもらうで、お客のじゃましたらいかんのので早くきたんや。説明は、いらんから」ちよつと違和感を持ちながらも友人、「どうぞどうぞうちは、無理な営業はしませんのでご自由にご覧ください。」と招き入れました。「ほー結構なかは、明るいしキレイや」と言ってくれる人が一

人だけで後の人たちは、無言でニコリともせず、ただ、家を見ているだけです。

これは、どうもお客さんじゃないなと思った友人は聞きました。「ご近所の方ですね。何か気になる事があるのですか?」「あんたは、この辺の人でないから何もしらんやろうけどなこは、火葬場の跡地なんや。その真上にこの家が建つとるんやで」友人は、驚いて顔にだしてしまいました。「本当ですか?」「と言っても使つとたんは、もう何十年も前の事やけどな。火葬場やったんや。ずっと昔からこの丘は、火葬場だった。それが、どういふもんか県外の不動産屋がこの丘の土地を手に入れて、ここに家を建てて何も知らん新婚さんに売ったんや。この辺の人に買う前に一言丘のいわれでもでも聞いてくれたら買つてないやろな。」

友人は、もう呆然として聞くしかなかったとそうです。「ここは、家なんかは、絶対に建てたらいかん丘なんや。」ここまで聞いた友人は聞きました。「それでその新婚さんは、どうなりましたか?」「半年もしないうちに奥さんが見えなくなつた。主人一人で一年くらい住んでいたようにだけどそれから空き家になつた。」なんらかの事情があつてローン返済できなくなり競売になり、うちの会社が落としたというわけか。「寄り合いの度に丘の家はどうなるんやろと話をしていたら昨日のチラシでビックリして、みんなで見に行つてみようと言ふことになつたんや。」そして近所の人が帰つていきました。

結局、数ヶ月売れず、大幅値引きの末に大きな黒塗りの外車に乗つたお兄さんが、買ったそうです。友人は、この物件を最後に会社を辞めました。不動産はもうこりごりとリフォーム会社の営業に転職しました。かなり給料は下がつたようです。「売つてきた中古住宅でも近所の人たちはきつと競売物件

の不幸を知っているんだらうな。」

### 第三章 占いを信じるな、活用しろ

私は、競売物件を扱うその道のプロに十人程度いままで会ってきましたが自ら競売物に住んでいる人は一人もいません。また、工務店を経営していたため、工務店の社長とも交流が多いのですが、誰一人として占いの家相でつくられた家に住んでいる人はいません。家相的な考え方の根本に潜んでいる情報を応用して、幸せを掴んだ人は、います。しかし、家相の理論に依存した人は、最終的には人生を失敗しています。おそらく、どんな家に住んでも、その人は失敗するのでしょう。自分の体で感じる反応を信じることができず、

どこかのだれかが作った不正確かもしれない占い理論を自分で検証もしないで盲目的に信じるのですから、成功するわけありません。風水師や占いの師の言うことを信じるということはもうその時点で依存していますから、成功しません。

家相の心配より気をつかうべきは、近隣の高齢者にその土地のいわれを聞く。季節によつて吹く風の方向を訊ねる。河川は大雨の時どうなるのかなどを注意深く調べる。地質や活断層を調査する。草木の成育をじっくりと観察する。臭いがないか騒音がないか確認する。など五感を使い観察しリサーチに気を遣うのが賢い人の風水的な家の建て方です。

連絡先

株式会社ゴールドストリーム 山下剛（やましたつよし）

yam@goldstream.jp

<http://www.goldstream.jp/>

## 風水師を信じるな？

アルルホームズ明るい株式会社

代表 安倍 鴻祥（あんばい こうしょう）

## 第一章 信じてはいけない！ 「風水のプロ」の落とし穴

まず、少し考えていただきたいのですが、そもそも、「風水」とは何なのでしょう。風水とは、「私たちを取りまく風と水、太陽などの自然界のエネルギーが人間に与える影響を知り、良いエネルギーを取り入れていくことで運気を良くし、幸せになりましょう」というものです。中国では、風水とは「帝王学」と呼ばれる学問の一種で、皇帝が国を平和に治めるために学んでいたものです。余談ですが、中国の歴代の都は風水を利用してつくられたといえます。日本でもやはり、奈良の都から皇居にいたるまで、国の大切な建物には風水の考え方が取り入れられています。

また「家相」もやはり帝王学と呼ばれる学問の一種で、こちらは「自然界のエネルギーの流れを家の間取りや配置に取り入れることで運気を良くし、そ

ここに住まう人が安全で健康に暮らせるようにしよう」というものです。エネルギーの流れは目に見えませんが、そんなのは単なる迷信だ、といって気にしない人もたくさんいます。ですが、多くの人は、家をつくる過程でいろんな話を聞いたりするうちに、次第に家相・風水が気になり始めるようです。というのも、家はおそらく人生を通していちばん長い時間を過ごす場所だからです。それに、そこに住むのはあなた一人ではありません。家族みんな、楽しいときも・苦しいときも、この先ずっと何十年間も住みつづける「生活の場」です。運気が悪いといわれる家よりは、多少なりとも幸運に恵まれそうな家に住みたいと思うのは当然ですよ。まして、家や土地は数千万円もする高額な買い物。いったん建ててしまえば、運気が良くないからといって、そう簡単に建て替えたり買い替えたりできません。では、家相・風水を上手に取り入れた家を建てるには、何をどうすればいいのでしょうか。

## 風水師の落とし穴

家相・風水を家づくりに取り入れようと思ったら、風水師と呼ばれる専門家に鑑定してもらう方法があります。テレビに出ているような有名な先生でなくとも、インターネットなどで探せば、すぐに見つかると思います。「それなら、さっそく専門家を探して、見てもらおう！」ですが、ちよつとお待ちください！

実は、家相・風水にはさまざまな説があります。百人の風水師がいれば、百通りの鑑定があるといわれているほどですから、ある一人の先生が良い家だと鑑定しても、別の先生から見たら最悪の家だった、ということだってあります。また当然、鑑定にはお金がかかります。名の通った、信頼できる先生にしっかり見てもらおうと思つと、それ相応の費用が必要になります。

ここで、先日私のところに相談に来られた、Aさんご夫妻のお話を紹介しましょう。マイホームを建築中のAさんご夫妻。普段はあまり縁起をかついだりはしないほうですが、せっかく家を建てるのだからと、インターネットで見つけた風水師に鑑定を依頼してみました。この先、何十年もローンを支払っていくためには、元気に働き、しっかり稼ぐことが必要不可欠！そのためにも、ぜひ金運が良くなる家を建てたいと考えたのです。住宅会社から届いたばかりの間取り図を持って、都内にあるその風水師のオフィスに足を運びました。ところが・・・

「だめですね、この間取りでは。キッチンがこんなところにあつたら、ご家族が病気になってしまいますよ」「玄関がこの方位では、お金がどんどん流れていってしまいます。変更したほうがいいですよ」と、残念な答えしか聞くこ

とができません。

共働きで毎日忙しいからこそ、玄関からキッチン、そしてダイニングへと、家事を効率よくこなせるよう導線にこだわったのに。風水師の言葉を聞いて、Aさんはすごく不安になったといいます。あれこれ悩んだ挙句、Aさんは一から間取りを考え直すことにしました。「病気になってしまう」「お金が流れていく」などといわれてしまったら、とてもそのまま計画をすすめる気持ちにはなれなかったのです。後日、今度はキッチンの位置、玄関の位置、寝室の位置など、すべての部屋の方角を風水師に確認しながら設計することにしました。おかげで、良い運氣が流れ込み、金運にも恵まれ、家族が仲良く、健康に過ごせるであろう最高の間取りが完成しました。「よし！ これならどんどんいことが舞い込んできそうだわ！」でも、この間取りは、効率よく家事をこなすという点では、あまり良くはなさそうです。それに、日当たりだって今ひと

つ・・・また、会ってアドバイスをもらうたびに、5万円、3万円、1万5千円と鑑定料を支払うことになりました。運氣、とりわけ金運が良くなる家を建てたいと思つて相談に行ったのに、気が付いたら、予想以上のお金が出て行つてしまったのです。笑話のようだと思いますか。

ですが、実際Aさんのような状況になつてしまい、私のもとに相談に来る方は少なくありません。いくら運氣が良くても、住み心地が悪い家に、この先何十年も暮らしていけるでしょうか。一生に一度の家づくりなのに、本当にそれで幸せでしょうか。

はつきり申し上げます。**風水師は、風水のプロであつても、家づくりのプロではありません。**もうちよつと正確に言えば、大工、壁紙職人、タイル職人、コンピューターのプログラマー、脳外科といった分野のプロに比べれば、プロとは言えません。風水的なアドバイスは多少できたとしても、建築のこと

が分からなければ、実際にそこに住む人のことを考えたアドバイスなど、できるわけがありません。それに、風水師は「現場」を見た上で鑑定するのでしょうか。家の周りには、坂や行き止まり、お墓、また大きな車道など、図面だけでは決まってしまうか？ 知ることのできないさまざまな「環境」があります。大切な家が建つ現場や周りの環境を見てもいない、見ようもしない人による紙の上だけのアドバイスなど、私だったら信じられません。

また、ちょっと意地悪な見方かもしれませんが、風水師は相談者が来れば来るほどお金持ちになります。だから、わざと悪いことを言ってお客様を脅し、何度も相談に来させる、そんな悪質な考えをしないとも限りません。そもそも、家相・風水が重要視された時代と現代とでは、住宅事情が大きく異なります。昔のように、広大な草っぱに、自由に好きな家を建てられるわけではありません。土地の広さも限られているし、道路や隣の家との位置関係など、

どなたもやむを得ない条件の中で、家を建てるのです。それに、いくら家相・風水が良くても、そこに住む人によつては、悪影響になることだってあります。家が持つエネルギーが強すぎると、そこに住む人のエネルギーが吸い取られてしまう、いわゆる「氣負け（きまけ）」と呼ばれる現象が起こることがあります。いつも元気で陽気な人が、とりわけエネルギーの強い部屋に長く居続けると、元気が失せてしまったり、病気になってしまったり。いくら良いエネルギーの家でも、そこに住まう人によつては、必ずしも良い結果になるとは限らないのです。

家相・風水は、ただ単純に方位だけから見るのではなく、その家に住む人の暮らしぶりや相性も踏まえて、じっくりと検討すべきものです。せっかくなお金をかけて鑑定を受けるなら、親身にアドバイスしてくれることはもちろん、同時に住まいづくりのプロとしての視点もあわせ持つ人に見てもらおうよ

うにしてください。

## 第二章 「風水住宅」でまさかの失敗！

住宅会社の中には、見学会と同時に「無料風水セミナー」や「風水無料相談」などを実施しているところもあります。また、「この家に住めば幸せがやってくる！」といった、いわゆる「風水住宅」を提案してくれるところもあります。住まいのプロが考えてくれるのなら、家相・風水だけではなく、実際の住み心地も重視した現実的な提案が期待できそうですね。ですが、この場合でも、注意していただきたいことがあります。

その間取り、ホントに大丈夫？ここで、頭の中に、家の間取り図を思い浮かべてみてください。家を真上から眺めると、きちんとした長方形になるこ

とは少なく、敷地や間取り、デザインの都合で、たいていは凹凸のある形になります。あなたの場合はいかがですか。この凹凸を家の「張り」「欠け」といいます。日本の家相学では「張り」は吉相、「欠け」は凶相です。中国の家相学では「張り」「欠け」は論じる価値がないので無視します。「張り」「欠け」の方位次第で、仕事運が良くなったり、反対に健康を害したりすると考えられています。そのため、風水住宅を提案する住宅会社の中には、たとえば家の構造上では必要がなくなるとも、開運のためにわざとたくさん「張り」をつくらしたりするところもあるようです。ですが、「張り」は、たくさんあれば良い、というものではありません。「張り」「欠け」の多い家は、四角形の家と比べて家の中心点が定まりにくく、家の強度や耐震性が弱くなるというデメリットがあるのです。

凹凸によっては死角ができるため、泥棒などにも狙われやすくなることも、

なきにしもあらず。さらに、「張り」と「欠け」のある家は、複雑な形になる分、それぞれの壁面で使用する木材や鉄筋の長さがまちまちになり、単純に四角い家を建てるよりも材料費が高つくきます。住宅会社の中には、「お宅の場合、西側に張りをつくと、ご主人の仕事運がUPして、お金に困らないようになりませよ」などと、家相・風水を口実に、お客様にいらぬ「張り」「欠け」を提案し、オプション費用を上乗せしようとするところも・・・そんな風にいわれると、たとえば追加費用がかかっても、つつい無理をして張りをつくりたくなってしまうと思いませんか。ですが、予算をオーバーしてまでも、家相・風水にこだわる必要は一切ありません。

この先、あなたは、何十年もの間、毎月毎月ローン返済をつづけなければならぬのです。その間、たとえば家族が増えたり、大きな買い物をしたり、予想外の出費だつてあるでしょう。やむをえない事情で、しばらく仕事を休

まなくてはならない、という可能性だつてゼロではありません。今、少しばかり無理をして家相・風水にこだわった結果、将来の暮らしに余裕がなくなつてしまい、生活を切り詰めながら過ごすことになつてしまつたら・・・その家相・風水は、本当に幸せをもたらしているといえますか。

本来、家相・風水は、あなたが幸せになるためのもの。それが、幸せな思いをするのは利益が増える住宅会社となつては、話が違います。

本当にお客様の立場で、幸せを呼ぶ「風水住宅」を提案するのなら、吉凶を気にする前に、まずは家の強度や耐震性、防犯性といった最低限の安全性を確保しなければなりません。今から将来の金運について心配しても仕方がありません。それよりも、今のあなたが可能な予算の中で、幸せな暮らしを実現することのほうが、ずっと大切！目の前にある現実をないがしろにしてまで家相・風水を優先するなんて、本来、あつてはならないことだと思います。

◆連絡先

アルルホームズ明るい株式会社

〒305-0821 茨城県つくば市春日2丁目18番地8

TEL 029-863-6188 FAX 029-863-6178

<http://www.arle.co.jp/> [info@arle.co.jp](mailto:info@arle.co.jp)

## 風水占いの本当の理論とは？

さてここまで読んでくると風水占いの理論って本当はどうなの？と思われることでしょう。土地を探すという観点から言うと、**龍・穴・砂・水**があります。龍と土地の起伏のことで多少は起伏があつたほうが人は落ち着くのです。山がまったく見えない土地は落ち着きません。穴とは気の集まる場所。土をほじくつて虫がまったくいないような土は気がありません。砂とは土地の品質のことで泥炭地や岩だらけの土地は住むには快適ではありません。水とは川の流れを感じる土地がいいということです。

次に**家相**ですが、これは4種類の考え方があります。一つ目は四柱推命方

式です。たとえば社会的地位が向上する目的な家相はこうあるべきだ、安定を目的とする家相ならこうすべきだという目的別に家相が決定できます。二つ目は玄関と門の方位で家相が決定されるという手法で周囲の風景との相性が家相が決定されます。三つ目は九星天地盤を使った家相で門の向きで家相が決定され、二千二十三年で家相が変わります。四つ目は奇門遁甲方式で門の向きと家の向きで家相が決定されやはり二千二十三年で家相が変わりますが、各方位で具体的な詳しい意味が出てくるのが特徴です。

市販されている家相の本はこれらの一部分だけを誇張して単純化したもので、難しくしても売れないからという内容のものが多く感じます。

フォーチュンソフトのソフトを使えば、この4種類の家相が瞬時に表示できます。

最後に、風水占いではありませんが、占いの真実について説明しやすい事例があるのでそれは紹介しておきましょう。ある東南アジアの外国人女性の事例です。アメリカの大学を卒業したキャリアウーマンで家族で企業経営をしています。正直、普通の日本人よりかなり豊かな生活をしていますが、縁あって交際しています。彼女は両親からお前は、愛嬌がないから、男が寄り付かないから結婚できないんだと言われている<sup>1</sup>3歳です。筆者の運営する北海道牧場に遊びにきたときは、愛嬌もあつてかわいい感じがしたのですが、現地に行つて見た姿は確かに愛想が悪く固い表情で、愛嬌もなくかわいい感じがしませんでした。なぜでしょう？

彼女は一族のなかでずばぬけて優秀なので企業全体の統治を期待されて、その責任感から女を捨てざるをえないと感じました。子供の頃から高校、

大学と特待生で授業料免除という才女ですが、従業員すべてに責任を負うというプレッシャーからなにかを捨てたのでしょう。

しかし、四柱推命でみると、なんと、色気星や淫乱星がたくさんあるではないですか。彼女は今現在、この程度の事業は兄弟や妹達で十分だから自分は、外に出ると言っています。もしかしたら、本当の自分を取り戻したいのかもしれない。

この事例から分かるように今現在の状況を、占いで当てることはあまり意味がありません。両親から見てもお前は愛嬌がないから男が寄り付かないんだと判断されるのに、四柱推命では色気星や淫乱星があつて男好きのする命式なのです。今のあなたを作っているのは、あなたの環境です。本当の自分はずっと違ふかもしれませんよ。そんな今までの自分とは違ふ本当の自分探しに占いはとても有効です。だから、今のあなたを当てようと使つても、

当たらないほうがいいのです。今のままの自分で満足ですか？満足じゃないでしょ？

次からの章では、心理学的な手法と占いを使って、経営者の事例を紹介していきます。きっと、今まであなたが経験したり見たり聞いたたりした占いとはまったく違った一面が体験できることでしょう。

# 経営者に読んで欲しいビジネス コンサルティングの実際

フォーチュンソフト代表 天野 雲海

## 占いに頼ってしまう経営者の心理

私は、仕事柄、中小企業の社長さんと話す機会が多いのですが、社長という職種を長くやっていると、今の自分の状態がどういう状態なのが、わからなくなってしまうことがあるようです。その原因は、社員が、本音でものを言うてくれないということに尽きます。給与の金額を決定できる社長に、本音でものを言うということは、首を覚悟しているか、他に転職のあてがある有能な社員ですが、そういう有能な社員を意見が違うということで、叱り飛ばす社長が多いのも現実です。自分だけで考え、自分だけで判断し、経営方針を決定するというのはいいのですが、現実を観る目が曇っていることがほとんどです。それで、不安を感じて運命学などを利用するようになる経営者が多いのです。

さて、そういう社長が運命学を使い出すと、不思議に運命学の奴隷になっ  
てしまう人が多いのです。それでますます不安を増大させます。ここでは、事  
例を紹介しますので運命学の使い方を読んで欲しいと思います。

■事例1 結婚相手の家族に支配された社長

(天野) 最初に重要なことを言いますね。占いの理論が〇〇だから、この人は、  
〇〇です という発想はしないでくださいね。でも、こうは言っても、必ず  
そういう発想が癖になっていきますから出てくると思います。それはそのときに  
指摘します。では、今までの人生で、ポイントとなる出来事を述べてください。

(K社長) 24歳のときに、職場結婚しました。25歳のときに、家内の弟が自殺

しました。その前に、家内の父親も自殺しています。原因は健康が優れないことと自営の商売の問題です。29歳のときに、独立しました。

(天野) 自殺の本当の原因は何ですか？

(K社長) 実は、家庭内の問題です。どうも、精神的に家内の母親が男性を追い詰めたみたいです。家長はこうあるべきだという感じで。また、三十五歳のときに、母親が事故死しています。同じ時期に、今の会社を継いでもらおうと思っている人に出会っています。私と違って部下からの信頼が厚い人です。また、二年前に、信頼していた幹部(二十年の勤務)が退社しました。

(天野) 退社の原因は何ですか？

(K社長) 分かりません。

(天野) そうですか。その幹部のことは、あとで詳しく聞きましょう。それで、どうも自殺が多いというのが気になります。

(K社長) 実は、学生時代は両親のもとにいるのが嫌でした。学生時代は、勉強に必要な科目は親が決定して、それ以外は勉強させてくれませんでした。就職も、親が決めた会社でした。結婚も、そんな感じでした。結婚後も、女房の親から支配されてきたという感じでした。自由がなかったという感じでした。なにからなにまで、支配されて嫌になります。おそらく、女房の弟も、父親も、それが原因で自殺したのでしょうか。なんとか、そういう環境から脱出しよう

として、会社を創立し、今の事業をやるのに必要な免許を取得したのが三代でした。四柱推命のソフトで大運を見てみましたが、なんとなくあっているようです。

(天野) ご自身で大運を分析されたのですね。頑張りましたね。

(K社長) 三十歳までは、官星かんせい。三十から四十歳までは、財星ざいせい。四十から五十歳までは、食神しょくじん、傷官しょうかん。となつています。三十歳までは、官星というのは、サラリーマン時代で、親から支配されてきた人生だと理解します。三十から四十歳までは、財星で、独立して商売を始めた十年間だと理解します。四十から五十歳までは、食神と傷官ですが、これはどういう意味なのでしょうか？

(天野) 食神と傷官は、悪い面が出ると傷つけたり傷つけたりする年。しかし、良い面が出るとある技術が完成するなど鋭い感覚が役に立つ年です。これまでの人生で、食傷の年になにが起こったのか？を見てみましょう。そうすれば、K社長にとつての、食傷とはなんなのか？が分かります。このアプローチの仕方に注目してくださいね。星がなににだから、こうなるという発想をした瞬間から、**事実が見えなくなってしまう**からです。現実を記録して、記録を観察することで、星の象意を作っていくというのが開運できる方法です。間違っても、占いの本を沢山読んで、どれが当たるんだろーうなんていう発想をしてはいけません。人生を記録するところから、始めないとなりません。記録が最初で、次は記録を観察することです。その観察方法に占いの手法を使うのですよ。

(K社長) 結婚した年は、食神と傷官。家内の弟の死は、食神と傷官。独立した年は、偏官。母親の死は、食神と傷官。二十年間勤務した幹部が辞めた年は、偏官。こんな感じですよ。

(天野) K社長にとって、偏官<sup>へんかん</sup>とは仕事の変わり目ですね。つまり、腹が決まった年ですね。食神と傷官は、出会いと別れ、生死に関する出来事ですね。じゃあ、四十から五十歳までの食神と傷官は、そういう年だといえませんか？正直行つて、私も傷官の年に離婚していますから、傷官の年つて別れが発生しやすいですね。

(K社長) そういえば、思い当たります。かつこ悪いのですが、税務調査で家内の不正がバレて、従業員が次々に退職して、私が家を飛び出し、恋人を作っ

た十年間でした。

(天野) そんなふうに、ご自身で食神と傷官の意味を定義してください。K社長だけに適用できる星の作用があるはずですから。食神と傷官の年になにが起こるのですか？なんていう質問を、お金を払って占い師にすることもなくなるでしょう。そして、ご自身で星の意味を定義することができたら、もつと進化した考え方に移行することができます。なぜならば、星に影響されている自分の思考の癖に気がつくことでしょうか。食神と傷官という星がまわってくるから、こうなるはずという発想は満足かもしれませんが、だんだんと、星にまるで自動機械のように影響されているオートマチックな自分に嫌気がさしてきます。自動機械の脳に飽きたら、進化した発想になってきます。

(K社長)自分で、人生の整理をしてみます。ところで、インド占星学のダシヤーシステムも見てみました。これも、なんとなくあっているようです。三十三歳までは木星支配です。サラリーマン時代は良い上司に恵まれました。社会勉強をさせてもらいました。また、神というものを意識したときです。木星の象意がよく出ています。次の五十歳までは土星支配で、経済活動、困難と闘う時代でした。これも、土星そのものです。そういった理解の延長で、これからの未来を予知していいですか？

(天野) よつほど自分の人生がこれではいけないという思いが強かったのですね。随分、色々な手法で分析してきたようです。過去を分析して未来を予知することはとてもいい手法です。

(K社長) ついでに、ホロスコープの未来予知をやってみたのですが、これは複雑でよくわかりませんでした。簡単に見る方法がありますか？

(天野) プログレス法で太陽だけを見てみましょう。生まれ日には、かに座の13度に太陽がありますね。毎年1度づつ進行させていきます。つまり、17歳までは、かに座です。よくも悪くも人との親和性というのがキーワードです。18歳から48歳までは、しし座です。無我夢中で生きた時代という理解でいいと思います。さて、次の乙女座で人生の締めくくりですね。乙女座に入って、数年になりましたが、ちょうど、ごたごたして変わり目のようです。乙女座は、冷静な分析というのがキーワードですから、運命学で自分の人生を整理しているのも乙女座だと言えます。このくらいいいのではないでしょうか。次に、二十年間も勤務してくれて、最近退職したその幹部の特徴を述べてください。

(K社長) 無口で挨拶はしません。暗い感じですよ。しかし、責任感があります。頑固です。気のあった人であれば、明るく話ができるようです。初めての人とは、会話ができません。結婚はしていて、奥さんは、明るくて良い人でした。職人肌で、任せられた仕事は一人でやれます。道具などは大切に使っていました。しかし、社長の言うことは、あまり聞きませんでした。釣りとか、山菜取りなどが趣味のようでした。

(天野) その方の両親を知っていますか？

(K社長) はい。田舎ですから、知っています。生まれつき無口だとその両親は言っていました。小学生の頃、ドモリになったみたいで、大人になっても、

それは続いています。また、甘やかされて育ってきたようです。

(天野) その方の奥さんとは、どういうなり染めだったのですか？

(K社長) それは、聞いたことはありません。

(天野) その方の兄弟はいますか？

(K社長) それも、聞いたことはありません。

(天野) その方が入社したのは、中途採用ですね。前の会社を辞めた理由は？

(K社長) 前の会社の社長が、自分の実力を認めてくれないからという理由でした。確かに与えられた仕事は、キチンとやれる人です。

(天野) 二十年もつきあったわりには、その方の事情や心配事を知らないようです。なぜ、その人がドモリになったのか？おそらく、子供の頃に、生きていく自信を喪失するような出来事があったはずです。だから、人とのコミュニケーションもできないのだと思います。自分が、嫌いなんだと思います。

(K社長) 彼の両親に会ったとき、それは感じました。冷たい両親だったと思います。四柱推命でみると彼は吉の命式なんですけどどうもそうはみえません。彼がいるから、若い社員も辞めていくということもありました。

(天野) 心が健康で運命に従って生きている人なら運命学を使えるのですが、心が病んでいては運命には支配されません。偶然に支配されるしかないのです。K社長さんは、自分の内面を見つめることに運命学を熱心に使っていますから、これからは人にも使って人の内面を推理したらいいかがでしょう。

(K社長) はい、実は、人の管理が自分にはできないと思っていて、今年で社長を辞めます。専務を昇格させようと思っています。自分に相談してくる社員はいません。専務に社員は相談しますから。

(天野) 勇気のある選択ですね。悟ったら開運しますよ。では、次に経理担当の役員をやっている奥さんの特徴を述べてください。

(K社長) プライドが高く、命令するのが好きです。日主が「甲<sup>きのえ</sup>」のせいでしょうか。儉約家ですが、ルーズです。これは、「食神」のせいでしょうか。我慢強いです。

(天野) どういうところに、ルーズですか？

(K社長) 掃除をしません。世間体を重んじます。子供っぽい感じですよ。少女漫画を読んでいますから。でも、仕事面では、だれにでも優しく大人です。特定の友達しかいなくて、相談できる人がいないようです。これは、四柱推命では、出ていないと思います。新しい発想はなにもしません。これは、「胎<sup>たい</sup>」だからでしょうか。

(天野) その奥さんと別居しているのはなぜですか？

(K社長) 家内と家内の母親は同居しているのですが、会社のことにも、家のことにも、完全に支配しないと気がすまないみたいで、それがストレスになるからです。また、家内が会社のお金をごまかして、税務調査でそれが判明したからです。それも、「食神」だからでしょうか。

(天野) K社長はチェックしなかったんですか？

(K社長) 会社の通帳を見せてくれないので、分からないのですよ。自分の個人の通帳も、握られていて見たことありません。

(天野) 彼女とか作りたくありませんよ。

(K社長) 実は、いるのですが、彼女の夫にばれて、彼女は離婚裁判を起こされていきます。

(天野) K社長の奥さんは、それを知っていますか？

(K社長) はい、知っていますが、会社から高額の給与をもらっているのです、私にはあまり言いません。実は、家内の母親にも二十年間、役員給与を払っていますので、二人合わせれば、大きな金額になります。

(天野) 奥さんの母親はどんな仕事をしているのですか？

(K社長) 実は、なにもしていません。会社に来たこともありません。でも、二十年間、役員給与を払っていました。田舎の常識、世間の常識では、親を大切にしろと言うので、そうしてきました。

(天野) それを続けたいですか？

(K社長) さすがに、若い社員が次々に辞めていくので、もうそれは続けられません。実は、先月、仕事をしない人に役員給与を払うなら辞める、と社員から直談判されたので、やっと決断できました。

(天野) 神様は愛ですね。K社長のさんの内面にあったものがやっと破壊されて

次にいけそうですね。幹部を解雇できなかったのは、仕事が減るといふことへの「恐れ」。仕事をしていない義理の母親に給与を払っていたのは、世間体への「恐れ」。この恐れに支配された二十年間だったみたいですね。

(K社長) はい。最近、社長は会議にも参加しないでくれと言われていて、自分は引くべきだと決断しました。会社が自分のものでなくなるという恐れがずっとあったのですが、もうそれも断ち切れました。

(天野) 素晴らしい。二十年間かけて悟りの境地に達したみたいですね。自分を支配しているものが、実体のない「恐怖心」だったということが分かったようです。恐怖は、悪魔の大王なんですね。人をもつとも、簡単に支配する道具が恐怖です。これからの生活の心配、お金の心配、健康への心配、相手

の浮気の心配、こんな部分を刺激するような商品やサービスが、売れているでしょう。悪魔に魅入られて、不要なものにお金を使っているとしたか思えないのですが・・・

さて、最後に重要なことを解説しましょう。K社長は二十年間もつきあってきた社員の性格や能力を説明することができませんでしたね。なぜでしょう。愛情がないからです。でも愛情がないからとつて、自分を責めるといふ思考では開運できません。夫を自殺に追い込み、息子を自殺に追い込んだ、恐ろしいほど愛のない女性達と暮らしていくためには、愛情の発露を削除しないと生きていきませんでしたね。敏感な感受性を殺さないと生きていきませんでしたね。だから、生きるための防衛本能が働いたと理解して新しい人生を送って楽しんでください。

今は、家を出ていますので、二十年間で習得した鈍感さと愛情不足の部分を、これから育成しなければなりませんね。生まれつきの本性をそのまま育成して大人になれる人は、全体の一パーセントもいないでしょう。子供の頃は親が巨人で、自分が生きるも死ぬも全ての権利を握っているように思えるものですから、親や学校の先生に気に入られるように、自分の本性の成長を停止し、親や学校や社会から認められる他から借用した人格で自分を防衛しなければいけないのです。ほとんどの人は、他から借用した人格を本性だと思っますが違います。また、本性を潜在意識だと言う人もいますが違います。生まれ持った本当の意識が本性であり、生きるために他から借用した意識が人格です。

■事例2 おかしな経営コンサルタント

(X社長) 私は、経営コンサルタントをしています。運命学を学習して、ビジネスに活用したいと思います。

(天野) どんな分野の経営コンサルタントですか？

(X社長) 長い間、販売をしてきたせいか、販売を手伝うことが多いようです。投資コンサルタントもやっています。

(天野) ほう、投資ですか。自分の収入の何パーセントくらいを投資していますか？

(X社長) あまり儲かっていないので、十パーセントくらいです。投資といっても、お客さんには三十万くらいしか薦めませんから。

(天野) では、X社長の得意技は、売り上げを伸ばしてあげるといことですか？

(X社長) どちらかというところ、販売後のクレーム対応のやり方のほうが多いような気がします。

(天野) どんな商品のクレーム対応を手がけているのですか？

(X社長) 最近では、パソコンを販売したあとのクレーム処理です。いかにして、

うるさい顧客を黙らせるかが求められます。

(天野) それで、運命学をだれにどのような目的で使うのですか？

(X社長) 新規の取引を開拓するとき、取引先の会社の担当者の性格を診断して、契約までこぎつける目的で使います。

(天野) 毎月どのくらいの経営コンサルタント料を頂くのですか？

(X社長) 五十万から百万です。

(天野) 「どうしたら、自分が得して相手が損するか？」そのノウハウを教え

て欲しいというふうに聞こえますが？

(X社長)ひどいことを言いますね。儲けるためには、当たり前ではないですか。

(天野) そうですね。では、四柱推命で相手の能力を診断する方法のテクニクを一つだけ教えましょう。

(X社長) お願いします。自分は、いろいろな宗教書も読破しており、精神世界のことには詳しいつもりです。

(天野) では、始めましょう。四柱推命ソフトをお持ちということなので、簡単に説明しますね。ものごとを感じるセンターには五種類があります。四柱

推命でいうと、日柱の天干が相応します。

・五行の木（甲・乙）  
きのえきのと

思考センター。ものごとを計画したり、熟考したりします。計画通りにやるので臨機応変さはありません。

・五行の火（丙・丁）  
ひのえひのと

感情センター。人の心の動きを敏感に察知し、機敏に反応しますが、計画性はありません。X社長の場合、月柱の天干がこれですね。

・五行の土（戊・己）  
つちのえつちのと

行動センター。体全体に思考センターがあるというタイプで、頭だけでは理解できません。ものごとの理解に時間がかかりますが、一度理解すると、体が覚えているので、すばやくできます。

・五行の金（庚・辛）  
かのえかのと

本能センター。食べる、寝る、呼吸をするといった本能のごとくに、生きていけるタイプです。迷いがなく断定的ですが、短慮です。X社長の場合、日柱の天干がこれですね。

・五行の水(壬・癸)  
みずのえ・みずのと

性センター。心で生きていきたいという欲求があります。セックスもその延長で魂の結びつきを求めます。X社長の場合、年柱の天干がこれですね。

しかし、四柱推命が日干が中心に構成されていると言っても、月干も、年干も、時干もあるわけですね。だから、それらも発動しますから、複数がかかります。ハッキリ言えば、人はみな、多重人格者の素質をもっているというわけです。この複数の存在を統合するのが、意思の力です。簡単に意思というふうに言いましたが、十年変わらない意思をもって、

ものごとを成し遂げる人は、あまりいいでしよう。つまり、複数のセンターを統合できる人はあまりいいということです。簡単ですが、これだけでも充分に使えるはずですよ。

(X社長) 自分の場合は、四柱推命でみると、金と火と水ですから、本能センターが中心的役割で感情センターと性センターが補佐的になりますか。

(天野) そうですね。それらを統合するとどうなりますか？

(X社長) 感情的にもりあがってしまうと、どんどんやってしまうようになります。

(天野) そうですね。ただ、どうでしょう。実際の現実を観察すると、本来は、

本能センターが働き、冷静に計算ずくてやらないといけない作業の代行を、感情センターがやっていて、結局は好き嫌いで仕事をやっているとは思いませんか？ また、本来は本能センターが働き、冷静にやれるはずの作業が、相手との心の結びつきを欲するあまり、相手を支配しようとして失敗したことはありませんか？ 各センターがキチンと作用しあうと、四柱推命の**通変星**の作用が出てくるのですが、各センターが暴走して、相手の役割まで乗っ取ってしまうという現象が実際にはたくさんあります。

(X社長) なんとなく分かります。ところで、これから先は、居酒屋で話しをしませんか？

～居酒屋で～

仕事の話しはやめて、X社長の生い立ちなどを聞きました。なぜ、こんなにも、成功願望が強いのか。その原因を知りたいと思ったからです。分かったことは、父親が小さい頃、家を出て行ったということ。そして、母親との関係も良くないということです。では、親との縁をすっぱりと切って、独立した精神を持つているかといえ、そうではなく、父親を非難したかと思えば、祖父も父親も東大卒で、昔は総理大臣にも、コンサルタントをしたことがあるといったことも言います。そういったことを聞いている間、X社長は、タバコを一時間に十三本吸っていました。タバコの吸い方が、どうも気になりました。落ち着かないのです。唇が小刻みに震えています。指も、忙しくタバコの灰を落としています。

あきらかに、なにかを怖がっています。家庭への恨み、父親への恨みがお

そらくは成功願望の動機になっているのでしよう。そういう動機では成功しないのです。なぜならば、そこには本当の「私」がないからです。あるのは、父親への恨みという、私以外の別モノです。「私」の個性は、完全に独立した精神をもっていないと出てこれません。親がどんなにひどくても、それを忘却してしまい、「私」自身の天賦の個性を活用することでは、ものごとをなすことはできないのです。「私」が、だれか他の人格（父親）を借用して、成功することはできないのです。「私」の人格が隠され、その代わりに父親への恨みという別人格がそれにとって代わっている状態では、「私」は存在できないのです。現実の世界に存在できない「私」が、成功できるはずはないのです。

しばらくして、X社長が、自分の秘書を紹介するので、呼んでもいいかと言うので、どうぞ、と言いました。三十分後に、現れたのは、とてもグラマー

な三十歳くらいの女性でした。この女性、自己主張をすることはありません。素直に相手の言うことを聞いて、うなずいています。そして、X社長は、そういううなずく秘書の姿をみて満足しています。落ち着きを取り戻しました。この女性の秘書はとてもやり手です。やり手というのは、弱い男の心をうまく操縦することができるホステス役という意味でのやり手です。X社長も、この女性が側にいると自分の本性を出さずに、カッコ良い自分を演出できるので気持ちがいいのでしょう。三十分くらい、X社長が楽しく秘書と会話しているのを見ていて、お別れしました。

一年後

(X社長) フォーチュンソフトさんも本を出版されましたね。書店で購入しま

したよ。ところで、プロモーションなどはやっていますか？

(天野) いいえ、まったくやっていません。

(X社長) じゃあ、そのあたりは、自分が得意なので、やってあげましょう。カリスマコンサルタントの〇〇氏の推薦でも取りつけましょう。

(天野) そうですね。結果を知らせてくださいね。お礼をしないとイケないので。

一週間後

(X社長) 実は、今成田空港から電話しているのですよ。急遽、米国に契約の

件で、行かないとなりません。プロモーションの件もやっていますが、なにぶん忙しいので、そろそろ機内に入る時間ですから失礼します。

一年後

(X社長) 最近、新しい事業をスタートさせました。自分も、社員三人に給与を払う立場になりました。まあまあ、利益が出ています。うまくいっています。利益の一部を、震災のあった〇〇国に寄付したのですよ。フォーチュンソフトさんは、奉仕活動はされていますか？

(天野) 利益は全て新製品開発に投入してきますから、奉仕はしていませんよ。

(X社長) 自分の友人の社長は、一千万寄付したと言っていましたよ。最近、国際線のスチュワーデスの彼女ができて、毎月海外に行っています。

一年後

(X社長) 私の予想通りに、革命的な本を出版されましたね。ところで、HPをみると、フィリピンの国際結婚の紹介もしているようですが、どうですか？

(天野) 他人の結婚の面倒をみるのは、なかなか大変です。それでも、製造業で真面目に働いている中高年なら、自信がなくてもちゃんと結婚できていますよ。

(X社長) 実は、私の友達が、バーチャルお見合いみたいなコンピュータシステムを開発していて、それを紹介しようと思うのですが。システム全体で五百万くらいからで、高くはないと思います。

一年後

(X社長) また面白い本を出版されましたね。

(天野) はい。ずいぶん、会っていませんが、最近どうしていますか？

(X社長) 一年ぶりです。最近は、ちょっとした大手の経理事務所のあるプロジェクトに組み入れられてしまって忙しくしています。その経理事務所にう

まく使われています。というか、ハッキリ言って騙された感じですよ。休みもとれず、ここに来る時間も、なかなかとれない状況でした。

(天野) 忙しいのはいいことですね。私などのアドバイスを求めて来たわけではないでしょう。

(X社長) 最近、先輩が商売でロレックスの仕入れでお金が必要だということで、蓄えてあった八百万を貸してあげたのです。つきあいですから、仕方ありません。また、最近もともと体調が良くなかった妻がますます病弱になって、家事も自分がやっているような始末です。

(天野) 善人ですね。当社は、全部新しい商品開発に資金を投入するので蓄え

はないんですよ。早く、X社長のようにならなりたいものです。お金を貸して欲しいと言いたげでしたが。

それから、一年が経過して、サブプライムショックが日本を襲いました。その会社は、倒産しました。

**知識だけ習得して経験しないとおかしくなる**

さて、このX社長の人格を構成するものは何でしょうか。虚栄心ですね。虚栄心とは、自分にはありもしないものを、あるように並べ立てる愚かさです。自分の言葉によって人に強い印象を与えようと努力するので、カッコのいい

ことを、綺麗な言葉、学術的な言葉で言うことができます。そして、意思が強そうに見えますが、ほとんどの、言葉がウソなんですね。約束したことをやれるかどうかだけを観察しているとそれは分かります。

では、なぜ、こういうウソを言えるのでしょうか。無知だからです。ここ  
でいう無知とは、知識がないということではありません。それどころか、X  
社長は、ベストセラーになっているビジネス書は、ほとんど暗記しています。  
仏教とか神道の知識も豊富です。しかし、自分の本性で、活字を読んでいな  
いので、本性は何も知らないということです。無理解と言い換えてもいいで  
しょう。知識と理解は別物です。知識は、その人を通して、その人が色づけ  
された形で理解されるのです。では、なぜ本性が隠されているのでしょうか。  
劣等感があるからです。子供の頃に、植えつけられた劣等感が大人になっ  
てもあるのです。だから、賞賛されないことを恐れ、受け入れられないことを

恐れ、拒絶されることを恐れているのです。この「恐れ」をごまかすために、社員に給与を支払う立場にならないといけなかったわけです。

劣等感を隠し、本性を隠すために一生懸命ですから、仕事などはうまくいくはずはありません。自分の本性を隠して、本性が欲しいものが分からないまま、どこのだれともわからない人格をコピーしてきてビジネスやっているのですから、信頼関係をつくることなど絶対にできません。なんとか精神バランスをとって発狂しないように、別人格を形成しているのですから。

素直に自分の能力のなさ、経済力のなさ、管理能力のなさ、を認めるだけで正常に戻り新しい道が開けるのですが、それを頑として認めない間は本性は隠されたまま、つまり死にながら生きていくしかありません。

もし本性を守りたいなら、生きたまま生きたいのなら、ウソをつかないこ

とです。とくに虚栄心から出て来るウソは本性を破壊します。医者が癌患者のためにつくウソは、虚栄心から出て来るものではないので本性を破壊することはありません。

こういう虚栄心の強い人と付き合う場合の注意点が二つあります。言葉を信じないでください。言葉の波動だけ感じて下さい。最初から最後まで矛盾を発見するという観点で観察してください。慣れないうちは異常性を確信するまで一年くらいかかりますが、二〜三人経験すれば三週間で分かります。もう一つは、その異常性に気がついたとしても、そこを必要以上に指摘しないでください。虚栄心の強い人だけなら、逃げ出して行くので問題はありません。しかし、ありのままの自分を愛せず、自分は優越的で素晴らしく特別で偉大な存在でなければならぬという思いが強すぎると、暴力的になって攻撃さ

れます。

### 人はほとんどの場合偶然に支配されている

多くの大衆は、偶然や世の中の常識や権力者に支配されています。運命学という道具を使って観察する以前にその人の価値観の根源は何なのかを知ると面白いのです。自分の本当の内面を無視して、TVの声や周囲の声を聞いて生活している人が多いです。具体的に説明しましょう。リーマン・ショックで百年に一度の金融危機だという叫ぶNHKのアナウンサーの声で怖くなつて持ち株を慌てて売り逃げた人はTVを信じたわけです。しかし、ここは買いだきだと思つて買った人は、自分の内面の声を聞いた人です。慌てて売つた人は全員が損して、買った人は全員が利益を出しています。

自分の内面を知りつつある人は、運命に支配されています。運命学という道具を使って観察する必要があります。自分が幸せを感じるポイントを知っていて、それに従って楽しく生きている人です。

**月を使った運命学は当たるが当たっても喜べない**

しゆくようきよう 宿曜経 しびとすうすいめい 紫微斗数推命は、月の暦を使った運命学です。プロの占い師にとつてみれば、当たりやすいものですから人気があります。さて、当たって喜んでいるのでしょうか？ 月は地球にどのような影響を与えているのでしょうか。潮の満ち引きなど、何万年にもわたって繰り返す定期的な、人類に同じように影響を与えてきていますが、その影響はまるで機械のように正確に繰り返しています。太陽は毎年のように黒点が移動するなど、明らかに変化していますが、

月はまるで死の星です。そんな死の星に、影響されていることがいいのでしょうか。癖を当てるのは月を使った運命学です。

昨日の自分と今日の自分が違っていなければつまらないです。昨日までできなかつたことができるようになる。昨日までの人間関係と今日の人間関係は違う。毎日が、新しい刺激で満ち溢れていないただの繰り返し的人生では、つまらない生活です。月を使った運命学は、当たったとか当たらないで使うよりも自分の癖を知るために使ったほうが良いのです。

### 人と人が理解しあえない理由

人は他人の言うことを知的に知ることはできませんが、ハートでは理解ができないということを明確に知っておくべきです。人の言う言葉をそのまま脳の

データベースに記録するところまでは皆同じです。しかし、その言葉から想像する出来事や感じ方は、その人自身の人格に色づけされます。そして、その人格は過去の経験からくる記憶から構成されています。

たとえば、税務署という単語一つにしても、経営者なら、税務調査のことを思い出して問答無用の国家権力機関であり、最も恐れるべき相手として想像するでしょう。しかし、そういう記憶がないサラリーマンなら、ただの役所としてしか想像できないでしょう。ですから、言葉で話し合ってお互いを理解したと思うのは、ほとんどの場合勘違いと思ってもいいくらいです。どんな人生を歩んできたのかを知らないと、相手の感じ方を知ることにはできませんし、理解のメカニズムを知ることにはできません。

親から受けてきた教育、影響を受けた先生や友人や本、信仰している宗教、信じているスローガン、こんなものがその人の人格を構成しているはずですよ。

## 魂の存在について

魂は存在するという前提で筆者は今まで本などを書いてきました。魂とは**意思の力である**というのは、どの宗教書にも共通して書かれていることです。つまり、前世ではどんな生き方をしている、だから、今世ではどう生きるべきかを知っているというのが魂であると書いています。しかし、現実の人間をみてみましょう。強い意思をもって、ものごとを成し遂げる人が、何パーセントいるでしょう。

たとえば、お金に不自由なく暮らしたいと思う人が、日本には五千万人いるとしましょう。では、実際にそのうち、何人が、お金に不自由しないで、お金の心配をしないで生きているのでしょうか。せいぜい、一パーセントでしょう。

だったら、九十九パーセントは、強い意志がないことになります。強い意志がないと魂は成長できません。たとえば、魂の材料をもつて生まれてきたとしても、それを育成して永遠の物質として生き残るように精錬して形成するのは、人間個人の仕事です。そして、その精錬には、あらゆる困難を克服する強い意志が欠かせません。

このように、考えていくと、魂は存在する人と、存在しない人がいるというふうになってしまいます。強い意志をもたずに、流されるまま会社に文句を言い、社会のシステムに文句を言い、国に文句を言いながら、自分の不遇に文句を言い続けている人は、子供の頃には魂の材料があったとしても、それが徐々に消滅していきます。

## デジタル記憶装置で動いてしまう人

多くの人は、常識というデジタル記憶装置で動いています。自分はそうではないと思うでしょうが、果たして本当かどうか、チェックしてみましょう。あなたの親族の子供が交通事故で亡くなったとします。あなたは、その親族に会いに行ってお悔やみを言いますか？ もし、常識に従って、そうするというなら、あなたは立派にデジタル記憶装置で動いている機械人間です。古代の日本では、お悔やみを言うことは罪だとされていたのです。子供を亡くした親の気持ちはだれにも分かりません。しかし、いつまでも、それにとらわれて泣いているほど、古代の生活環境は甘くはありません。食料を生産しなければ、飢えて死ぬのです。だから、一刻も早く忘れようと努力をします。そんな努力の最中に、お悔やみを言われると、忘れかけている感情が再び思

い出されて悲しみが襲ってきます。だから、お悔やみを言うのは罪とされていたのです。子供を亡くした親まで殺したいという動機で、お悔やみを言うはずだと理解されていたのです。古代人のほうが、愛情深い習慣のなかで生きていました。

筆者の知る限り、教養のある人ほどこのデジタル記憶装置で動く人が多いようです。具体的には、日本経済新聞を真面目に読んでいる人。NHKニュースをまともなニュースだと思って聞いている人。インターネットで情報を沢山収集している人などです。いっぽうで、自宅にパソコンがなく、新聞もとっておらず、ニュースを見ないような人のほうが本能だけで生きているので、デジタル記憶装置では動きません。だからと言って、そういう人のほうが開運するということではありません。開運するためには宗教的な知識も必要であ

り、経済の知識も必要ですが、そういう基礎がないので開運できません。しかし、開運はしなくても、脳が汚染されていないので、教養のある人よりも、幸せそうに生きています。

このデジタル記憶装置は、小学校に入る頃から育成されます。たとえば、校則でやってはいけないことばかりが脳に記憶されます。そのなかには、学校からの帰り道に、田んぼにいるメダカを捕まえてはいけないというものまであります。夏休みの水泳大会では、学校の先生が、いつもよりも頑張れという無理な注文を言って子供にストレスを与え、極度に緊張させて子供がストレスのあまり突然の腹痛を起こします。毎日、2時間も水泳の練習を積み重ねて大会に参加したのに、スタート直前になって、いつもよりも頑張れというのは、まもとではありません。リラックスさせ、普段の実力を出させるの

がコーチの役目であるです。試合では、いつもよりも頑張らないといけないなら、試合のあるスポーツは全て子供は嫌いになつてしまいます。漢字を覚える授業では、どんな覚え方を教えているのかというと、「たて、たて、たて、よこ、たて、たて」こんなふうに漢字を教える先生がいて驚きました。漢字を覚えるのが苦痛になるわけです。こんなふうに、毎日の学校生活で、子供は、どんどんデジタル記憶装置に順応していきます。

マイクロソフトの入社試験の内容が、「富士山を移動するには、どうしたらいいか？」という問題だったそうですが、マニュアル脳の学生を排除しようと思うと、そんな試験問題になるわけです。子供がいる人は、子供が毎日学校で、何を覚えてくるか、じっくり聞いてみるといいでしょう。

筆者は、毎日、子供をデジタル記憶装置にしないために、かなりの時間を

費やしました。具体的には、学校が教える内容は、先生の経験に裏付けされない教えであることを子供に理解させる作業です。これを、何年か継続していると、子供は学校の先生の言うことを、常に疑うようになり、自分の目と自分の感覚で確認しようとしています。もちろん、親の言うことも自分で確認するまでは簡単には信じません。だから、いつも子供とは真剣勝負でした。子供の教育にお父さんが深い部分で関わっていないと、子供は伸びません。

## プロフィール

■安倍鴻祥（あんばいこうしょう）

『住宅価格の常識を変える。私たちが変える』をモットーに、『美しく長持ちする家』をコミコミ1000万円で販売。独立早々、マスコミに取り上げられ、茨城県つくば市の1拠点エリアNo.1住宅会社に成長させる。

■山下剛（やましたつよし）

設計事務所、建築会社を主宰し300を超える商業施設・住宅設計実績をもつ。マーケティングと風水と建築設計を融合した風水マーケティングのコンサルティング・風水建築設計施工を精力的に全国で行っている。

■天野 雲海（あまの うんかい）

運命学を三十年以上研究している。運命学の専門書も出版し、企業経営者向けのコンサルタントも行っている。研究した内容をソフトウエア化して占いのプロを目指す人に販売している。有限会社フォーチュンソフトの代表。

Windows 対応ソフト

- ・星平会海<sup>せいへい かい</sup>プロ版（四柱推命と占星学と紫微斗数推命と宿曜経を統合）
- ・新四柱推命プロ版 東洋医学バンドルパック
- ・西洋・インド・七政占星学プロ版 マヤ占星学バンドルパック
- ・占いイベント用統合ソフト
- ・家相・手相・姓名判断プロ版 奇門遁甲バンドルパック
- ・Web ショップ

本を読んでも分かったようでも分からないというのが占いの書籍の特徴です。結局、自分は何者なのか？分からなくて当然です。根源的な知識がすっぽりと抜けているからです。

**市販の書籍には書かれていない占いの根源的な知識**

## 四柱推命占いは現代社会で生き抜く知恵を教えてください

四柱推命は古代中国で発明され科擧の試験に受かって出世するかどうかで使われてきた占いです。まさに現在の競争社会で生きる指針を示してくれる占いです。十干と十二支から構成されていて、通変星や十二運星といった星を計算で出して占います。しかし、通変星とはなんぞや？十二運星とはなんぞや？という根源的な記載が市販の書籍にはありません。筆者は三十年間にわたってこれを探求してきました。原書に天は母となし、地は子となるという記載がありますが、これは十干は精神を意味し、十二支は本能的行動を示しています。そこから通変星は価値観を意味し、十二運星は行動様式を示すと理解できます。

## 十干は精神を意味します

・甲きのえ

凜然・プライド・活発・勇敢・剛直・怒気性・短気・社会との関わり・秩序・ルール化・妥協心なし・曲がったことが嫌い・勇気を持って前進。

・乙きのと

平和・安定・非大胆・漸次性・姑息・非決断・謀略・愛情問題に敏感・N O 2 が楽・柔で剛を制する・他人の目が気になる・意思が弱い・ストレスに弱い。

・丙ひのえ

華美・公明・気軽・人和・交際・非戦略・非永続性・他人から認められたい・戦略性はない・能動的・考えることは現実的で権力的・ロマンには欠ける。

・丁ひのと

品格・善知・奥ゆかしさ・溫柔・義理人情・正直・騙され易い・NO1よりNO2・成果をあげることがストレスになる・気が弱い・内向的・善と悪とを見分ける心。

・戌つちのえ

要領・信用・尊大・我意・猛進性・自己主張・非戦略・面倒見が良い・調停が得意・こだわりがない・慈悲・動きながら運をつかむ・環境の変化に影響されやすい。

・己つちのと

情緒・嫉妬・器用・利発・妄想・嫉妬性・不安定・愛して欲しい・育む心・感動を伝える相手が欲しい・だらしがない・断れない・好き嫌いで判断・やりすぎ。  
・庚かのえ

強引・直感・軽快・軽薄・一芸一能性・気苦労・考える前に行動・融通が

利かない・好奇心旺盛・根拠のない自信がある・他人の意見は聞かない。

・かのと  
辛

繊細・清楚・忍耐・迷走・辛苦性・取り越し苦勞・正義感が強い・傷つきやすい・  
修養を好む・物事に夢中になってしまふ・柔軟さには欠ける。

・みずのえ  
壬

戦略・勝負・知性・泰然性・恐れ知らず・細かい・変化する・人の悩みを  
解決する力・成功したい心・先を見る目がある。強気でいたい・精力を尽くす。

・みずのと  
癸

変幻自在・頑固・保守・意志剛健・勉強・忍耐性・学問好き・文献からの知識・  
常に思考している・権力を好む・判断を大きくはずさない自信・適応力がある。

十二支は癖を意味します

実際の診断では実はこの十二支占いは当たりません。おみくじ程度です。

・子<sup>ね</sup>

思い切りが悪くコツコツやる・損得勘定をやりすぎる。

・丑<sup>うし</sup>

理念を守る・決まりを守る・頑固・臨機応変さが無い。

・寅<sup>とら</sup>

威張り屋・人を指揮したい。

・卯<sup>う</sup>

やりっぱなし・寛容・やりたいことが多い。

・辰<sup>たつ</sup>

破壊者・勇気・勢い・威圧的。

・巳<sup>み</sup>

やきもち・同情・嫉妬心・人と比較する。

・午<sup>うま</sup>

浪費・思い切って使う・歓楽・あけっぴろげ。

・未<sup>ひつじ</sup>

迷う・取り越し苦労・迷ってばかりいる。

・申<sup>さる</sup>

へつらう・上から評価されたい・偉い人の追従。

・酉<sup>とり</sup>

企画・口だけ・知恵過多・行動よりも口先。

・戌<sup>いぬ</sup>

忍耐・理念の実現・反発精神旺盛。

・亥い

能率・独断専行・一人決め・自分が決めたことが正解。

**通変星は価値観を意味します**

十干と十干の組み合わせが通変星です。十干は精神だからそれが二つ作用すると価値観になります。

・比ひけん肩

自主・自我・独立・独断・独自・競争・負けたくない・不和・分離・暴走・自尊・強引・競争・熱心・押さえつける・人脈・人と群れる。

・劫せうさい財

意固地・熱心・集中・志望大・投資・大胆・頑固・しつこい・うぬぼれ・世をすねる・破産・不義・投機・戦い・競争・勝ちたい・物真似でも可。

・食神しょくじん

温和・和楽・寛大・志望大・表現力・実力以上の才能に見せる・衣食・現実・巧妙・技術・たるみ・油断・肥満・色情・でしゃばり。

・傷官しょうかん

切れ味のある才能・知才・細かい情報・弁舌・隙のない技術・芸能・巧妙さ・気位・過敏・敏感不満・多弁・うるさい・でしゃばり。

・偏財へんさい

淡泊・敏捷・合理的な処理能力・現実・軽快・多忙・投機・社交・発展・展開・商売・金融・義理・多趣味・気まぐれ・相手の心を読む。

・正財せいさい

細心・正直・正確・実直・堅実・信用・儉約・自己資産・貯蓄・経済・正義・細かい・ケチ・不安・徒労・コツコツ・押さえつけ・相手の心を読む。

・偏官へんかん

権威・権力・統率・思い切り・大胆・改革・脱皮・転換・覇気・暴官・強圧・専制・挫折・激情・抑圧・上司・管理職・組織指向。

・正官せいかん

品位・気品育ちのよさ・家系の正しさ・自制・反省・正直・規律・信頼・地位・公平・名誉・几帳面・緊張・細心・線が細い・事務的形式的・完成した形。

・偏印へんいん

知謀知略・俊敏な行動・自由・発想・洞察・好奇心・創造・アイデア斬新・学問・宗教・迷い・妄想・混乱・錯覚・分かったつもりで分かっていない・失業。

・印綬いんじゆ

生命・生氣・知力・慈悲・清潔・良心・理想・信望・学問・観念・名誉・  
引き立て・利己・依存心・気まま・怠慢・甘え・執着・興味・分かったつも  
りで分かっていない・うぬぼれ。

### 十二運星は行動様式を意味します

十二運星は精神を示す十干と本能的行動を示す十二支から算出されます。す  
なわち行動様式を示します。動物占いはこれを使った占いです。

### ・胎たい

独自・自由・非束縛・用心深く準備をして成功・上手にお金を使って成功・  
時代の変化にのって成功・現状に不平不満・実力が伴わないので失敗・お金

にはいつも不満。

・養よち

純真・愛情・八方美人型・計画的にあせらず時間をかけて成功・基礎がしっかりしている・伸び方が堅実・こだわりがなく失敗・のんきに構えて失敗・ダラダラして失敗。

・長生ちようせい

形式が重要・実益・世渡りが上手・センス良い・発展し蓄財・新鮮なアイデア・自分の信念から発しない合理性・人の評価を気にする。

・沐浴もくよく

挑戦心大きい・非定着・多角的行動・時代にのって成功・異性の気を引き上手に使う・変化に便乗して成功・多角的仕事・目移りして何も成功しない・異性で失敗。

・冠帯かんたい

先端・体裁重視・押しの強さ・腰砕け型・規律正しい社会生活・地位と権力を上手に使用して成功・ハツタリで成功・1のものを10に見せる能力・地位を乱用して失敗・ハツタリで信用をなくす・見栄に金を使う。

・建禄けんろく

完璧主義・非協力・権威主義・邁進・着実に発展して成功・最後には地位をつかむ・お金は使うより貯める・他人の意見に軽々しく従わない・協力者を欲しくない・自分の利益だけ追求して失敗・無鉄砲。

・帝旺ていおう

悠然・のんびり・迫力で一気に成功・派手にお金が入ってきて派手に出ていく・投機で失敗・盲突進して失敗・トラブルがあってもビクつかない。

・衰<sup>すい</sup>

実績と経験重視・淡泊・派手さはないが除々に成功・大きな失敗はしない  
が大きな成功もない・考え方が冷めている・人に感動を与えられない・金儲  
けに貪欲ではない。

・病<sup>びょう</sup>

夢想・童話的・非現実・時代の動きを読みとって成功・少しの努力で成功・  
目先の事にこだわって失敗・大局がない・中途半端・センチメンタル・憂い  
が多く不安定。

・死<sup>し</sup>

努力・労働は得意・辛抱して同じ事をやり続けて成功・固定的に安定収入  
を得るような努力をする・要領が悪い・時代についていけず失敗・鈍感・無関心・  
頑固・無感動。

・墓ぼ

配慮・現実と数理を重視・記憶・勤勉にやって、着実に少しづつ成功・浪費はしない・大きくも成功しない・お金を使うべきところで使えない・センスのなさで失敗・古くさい・ルールに縛られる・融通がきかない。

・絶ぜつ

敏感・感覚・変化・非秘密性・転職して成功・方針を思いっきり変えて成功・現実的でない目標を転換して成功・方針が変わりすぎて失敗・行き当たりばったりで失敗・不安定極りない・お天気屋。

宿曜経占いは二十七分類のわかりやすい占い

月が一ヶ月かけて地球を回る周期から判断するインド発祥の占い。筆者は相性占いでこれを多用しています。よく当たります。例えば、筆者が現在交際中の婚約者とは安・壊の関係です。女性からみれば安心。男性からみれば手におえない関係。しかし年齢差が二十歳もあると良い関係になると言われています。

・昴ぼう

神の権威を持つ者。世の中のために、わが身を犠牲にして働く。しゃべり過ぎてぼろを出すことが多い。

・畢ひつ

すべての人の役に立とうとして働く高貴な精神を持つ。周囲がまだやっていないのかというくらい固執する。

・贅<sup>し</sup>

名誉を重んじる。いろいろなところに口をはさんで指導力に秀でる。人を利用して名誉を得ようとする。

・参<sup>しん</sup>

どこにでも参加して口を出す。うるさく感じる。知らずと目立ってしまう。大きな声を出さなくても、十分に目立ちます。

・井<sup>せい</sup>

深い井戸のように知恵があり、家族思いで真面目なタイプ。頭だけで考えてうまくいかなくなることがある。

・鬼<sup>き</sup>

とんでもなく深い洞察力があり、好奇心が強く知識を得ようとする。一発逆転ばかりを狙っている傾向。

・柳りゅう

風に耐えうる柳のように強さを持ち、辛苦に耐えて突き進む。自分流の正義に酔いしれる傾向。本音は後から言う。

・星せい

しきたりや常識よりも自分の星を追っかけていきたいタイプ。常識的な観点からものごとを判断できない傾向。

・張ちやう

人と人の関係をつなぎ、人脈を作り、人を使いこなすタイプ。手柄は全て自分のものになりたい。人には負けたくない気持ちが強く議論では負けない。

・翼よく

翼をはばたかせて大きく世の中に出ていこうとする野心家。立派な志と実際の行動が一致しない傾向。

・軫しん

目上にうまくとりいつて甘えるのが上手で、やりたいことをやっていくタイプ。人づきあいもほどほどにしないと忙しくなり過ぎる傾向。

・角かく

四角の堅物でウソや偽りのない生活をして人から好かれる。数字や法則で考え過ぎるとダメになってしまう。

・亢こう

抵抗することに生きがいを感じ、不正や目上を徹底して攻撃してしまう。周囲に巻かれることも覚えるようになる。

・氏てい

実力以上に自分が目立たないと気がすまない。世の中の柱になりたいという欲求。偉い人の力を利用して主役を演じようとする Dann になる。

・房ぼう

多くの人が集まり、派手な遊びが好きで、豪快に生活を楽しむタイプ。豪勢な生活を望み過ぎる。お金持ち指向が強すぎる傾向。

・心しん

人の心を理解するため、人を動かすことが得意なタイプ。愛嬌だけでやっていくと信頼をつかむことができない傾向。

・尾び

最後の最後まで、自分の納得しないことには戦う武人。獲物を追いつめていくのが得意。人への恨みを言いやすい傾向。

・箕き

風の神。多くの目下を集めて、組織を作り、大きな仕事を成し遂げる。思考の速度が速すぎて周囲がついていけない傾向。

・斗とら

柄杓のように、知恵を集め、多くの人から知識を吸収してのし上がって行く。物事の整理整頓ができずに不安になってしまいう傾向。

・女じよ

上品で気がきく紳士淑女だが、策を練るのが好き。行動は早くはない。秩序を重視する順法精神もほどほどに。

・虚きよ

実際の効果と精神的な効果の両方をバランス良く見通し、経営をしていく。自分流の道徳論を主張し過ぎる傾向。

・危き

危険なくらいに意思が強く、自分の価値観に従って生きていく。美意識にこだわるのもほどほどにして、面倒なこともやってみると良い。

・室<sup>しつ</sup>

多くの知恵を溜め込み、頭を使い分けることができる。お金を使うだけでなく、人とは深い交わりをしたほうが良い。

・壁<sup>へき</sup>

決して倒れない壁のように、流行や世間の流れに惑わされなくて人間らしく生きる。我慢するだけが道ではないことを知る。

・奎<sup>けい</sup>

器用に何でもこなせ、文章を上手に作ることができる。面白いと思って熱中し過ぎると失敗する傾向。

・婁<sup>ろう</sup>

活動的で華やかで人から頼りにされる庶民的でソフトな雰囲気を持つ。何々しなければならぬという義務感が強過ぎるとうまくいかない。

・胃

何でもかんでも吸収する胃のようで、強引に物事を成し遂げていく。世の中、なんでもかんでも思い通りにはならないことを知るようになる。

## 西洋占星学・ホロスコープ占い

みなさんご存知の星占いです。東洋系の四柱推命や宿曜経とどちらが当たるのか？という質問をよく受けますが、成功者ほどちらでみてもよく当たります。もちろん診断結果は異なりますが、それを見事に融合しているのです。星が生き生きとしています。悩んでいる人ほど、えっこんな星を持っているのにこんな性格なの？と驚くことが多くあります。持って生まれた星を活かしていない人が幸せでない人のようです。市販されている書籍では、星座と

はなにか？惑星とはなにか？その関係性は？という根源的な内容の説明がありません。筆者はここを探求して解決するのに三十年もかかってしまいました。簡単なことでした。星座は深い心からの欲求なんですね。それを実現する兵隊が惑星です。これさえ理解しておけば、占星学は簡単です。

惑星は星座の欲求を満たす実働部隊

・ 太陽

生命の源・人生目的・霊魂・パワー・戦士

・ 水星

情報認識と知的交流・エスキモーに氷を売る能力・柔軟

・ 金星

肉体が感じる情・愛されたい・情感・嫉妬・僧侶

・月

現実生活の情感・狭い視野・家庭生活・安定・商人

・火星

やりたい欲求・勝ちたい・競争・戦い・戦士

・木星

社会・神・指導者との関係・穏やかな発展・僧侶

・土星

困難・利己心・不機嫌・打算・我慢・労働者

・天王星

覚醒と改革・上司に逆らう・改革

・海王星

神秘的幻想・無償の愛・献身・そこに行けば全てうまくいくという錯覚

・冥王星

究極の目標と魂・一撃で破壊する激しい感情・冥界

星座は精神的な欲求を意味します

・牡羊座

冒険的な気持ちがあり、リスクを覚悟でやってみようとしています。

・牡牛座

冒険を好まず、現状の維持を求めるために、物質の欲求があります。

・双子座

何事に対しても反論し、思いついたことは取りあえず試してみたい欲求の

ある実験屋。細かい部分で悩みます。

・かに座

人との親和性の欲求が強く、自分を認めて欲しいという動機から自己防衛に走りやすい。

・獅子座

全力で物事をやりとげる欲求があり、全身全霊自信をもってやりたい気持ちです。

・乙女座

少女のような官能性と創造性を持つ。何にでも関心をもつ欲求があります。自己批判をしやすい。

・天秤座

なんとかリスクを避けるためにあれこれ頭を使います。分析して安定させ

ようとします。

・さそり座

直感的にピンと来たものを創造したい欲求があります。不安と苦悩がつきまといまます。

・射手座

情熱的に一度やりかけたことは、最後まで徹底してやり遂げたい欲求があります。リスクを好みます。

・山羊座

自己を厳しくコントロールします。絶対的な責任感と使命感をもって、一人でもやりぬく欲求があります。支配欲は強い。

・水瓶座

何よりも楽しさと多様性を好み、やり遂げるといった欲求はありません。

・魚座

これをやりたいという欲求がなく、ハートと感性の洪水の感動屋です。

紫微斗数推命しびとすうすいめい占いは東洋式ホロスコープです

紫微斗数推命は古代中国で発明された占術で、その人の心情を詳しく見ることができます。中国の唐の時代から宗の時代にかけて陳希夷ちんきいという仙人が創始したと言いつ伝えられています。日本では、四柱推命や算命学などのほうが有名で、この紫微斗数推命という占術はあまりよく知られていませんでした。しかし、人の性格、能力、趣味、友人知人との関係、健康、財運、恋愛傾向、配偶者との縁、父母との縁、子供との縁を詳しく診断できます。

また、紫微斗数推命の命盤を作成するためには、出生年月日時データの

必要です。生時不明の方については判断することができません。西洋のホロスコープでも生時不明の場合は、やはり十二の宮に分類するハウス技法の診断ができません。命盤を出すときには旧暦を使用します。したがってまず最初に生年月日時を現行の暦から旧暦に変換する必要があります。このとき月の境が流派によって異なるため、命盤が違うケースが出てきます。

伝統的な手法では、旧暦の月でもって命盤を作成していきます。したがって現行暦の月ではありません。しかし、改良派では、四柱推命のように二十四節気による月を使用しています。たとえば、2008年11月28日は、旧暦では11月1日です。しかし、亥月の1日でもあります。11月を使うのが伝統的な手法で、亥月を使うのが改良派の手法です。ここがややこしいところですが、さらに月は閏月という問題があります。同じ月が繰り返されるといふ現象です。たとえば、2006年7月25日は旧暦では7月1日。2006年8

月24日も旧暦では7月1日。となつています。伝統的な月を使えば、閏月に生まれた人はその月の前半生まれなら本月、後半生まれなら後月生まれとみなさなければなりません。こういう部分が、流派の差になつてくるわけですが、閏月に生まれた人には紫微斗数推命を使わず、他の占術を優先して使うという対処が実際の現場では必要です。フォーチュンソフトの星平会海プロ版ソフトではこの二つの流派が切り替えられます。

紫微斗数推命は、構造上は東洋の占星術であると言えます。西洋占星術と同じように十二宮からなるホロスコープとなっています。西洋占星術では宇宙の太陽系の実際の惑星を用いて判断するのに対し、紫微斗数推命は実際の星ではなく、生まれた生年月日時をもとに旧暦と十干十二支の關係により星を出します

## 十二宮の意味と診断方法

### ・父母宮

自分が両親・目上・権力者をどのように思っているのか、反抗的なのか、服従的なのかをみます。破軍星や七殺星が入っていれば、権力者や父母を怖い人と思っており、反抗的になります。天府星や天同星が入っていれば、権力者や父母を優しい人と思っており、服従して協調できます。

### ・命宮

自分が自身をどのように思っているのか、性格や行動の癖をみます。破軍星や七殺星が入っていれば、考えるより行動の人となります。天機星や天同星が入っていれば、行動よりも思索の人となります。

・兄弟宮

自分が同年代の友人・同僚・兄弟をどのように思っているのか、協調的なのかライバルのかをみます。破軍星や七殺星が入っていれば、同年齢の人に対し、ライバルとしてつきあいます。天府星や天同星が入っていれば、同年齢の人に対し、心を打ち明けられる癒しの相手としてつきあいます。

・夫妻宮

自分がどのような異性を好きになり結婚しやすいか、人生上のパートナーとしてどういう異性を選びやすいかをみます。自分に必要な配偶者が示される場合もあります。破軍星や七殺星が入っていれば、権力的な人・荒っぽい人と人生を共に過ごし、結婚しやすくなります。天府星や天同星が入っていれば、優しい人、人の話しを聞く人と人生を共にしたり、結婚しやすくなります。

・男女宮（子女宮）



るかを示す場合もあります。天梁星や馱馬が入っていればスポーツです。太陰星や天同星が入っていれば休息です。

・遷移宮せんいきゆう

自分が自分の行動力をどのように思っているのか、考えを行動に移す場合の移し方は荒っぽいのか、柔軟なのかをみます。天梁星や破軍星が入っていれば行動的です。太陰星や天同星が入っていれば思索的です。

・奴僕宮ぬぼくきゆう

自分が自分の目下や部下のことをどのように思っているのか、自分を支えてくれる人なのか、自分を利用する人なのかをみます。廉貞星や破軍星が入っていれば、自分を利用する人です。太陰星や天同星が入っていれば支えてくれる人です。

・官禄宮かんろくきゆう

自分が自分の服従能力をどのように思っているのか、目上に対する服従の姿勢はどうか、従順なのか、反抗的なのかをみます。廉貞星や破軍星が入っていれば服従などしません。太陰星や天同星が入っていれば服従できる人です。

・田宅宮  
でんたくきゆう

自分が自分の不動産運、資産形成、家庭づくりをどのように思っているのか、社長の会社に対する思い入れはどうかをみます。廉貞星や天梁星が入っていれば、資産形成に積極的です。太陰星や天同星が入っていれば、身分相応の暮らしです。

・福德宮

自分が自分の心のゆとりをどのように思っているか、どういうところに（異性を含む）人生の喜びを見いだしていくのかをみます。廉貞星や破軍星が入っ

ていれば、荒々しい異性と一緒にいると楽しくなります。太陰星や天同星が入ってれば、優しい異性と一緒になれば楽しくなります。

十二の宮をそれぞれ説明してきましたが、実際の鑑定では、メリハリをつけてみる必要があります。生き方を診断する場合は、命宮（自分の資質）と財帛宮（お金の稼ぎ方・使い方）と官禄宮（目上への服务能力）の三つがもつとも重要です。キツイ星、荒々しい星が財帛宮に入っている場合は、商売人向きと判断します。商売で得るお金は、戦いで獲得するものだからです。官禄宮にやさしい星が入っている場合は、サラリーマン向きと判断します。サラリーマンの場合、お金は服務の結果、報酬として頂くものだからです。

結婚診断、つまり、どういう異性と人生のパートナーとなりやすいかは、夫妻宮を重視します。（恋人との関係ではありません。）男女宮・子女宮は、結



**四柱推命**

乙:正財 庚 丁:正官 乙:正財 壬午 十干英学 旧暦 平月 10/16 六曜 先勝

大運は生まれた日から、8年10月毎に換ります。  
 期入日 7日20時  
 期入日からは19日までの期入り日までは9日です。  
 宿曜経 参宿

五行の強さ

水	火	土	金	木
3	1	0	1	0
1	1	1	2	2

比肩 劫財 偏官 正官 正印 食神 傷官 印祿

帝旺 沐浴 病 墓

命式と大運の合冲 命式と年運の合冲 命式と月運の合冲 数え年は生まれた年が1才です。

5才2月	15才2月	25才2月	35才2月	45才2月	55才2月	65才2月	75才2月	85才2月
戊:偏印	己:印祿	庚:比肩	辛:劫財	壬:食神	癸:傷官	甲:偏財	乙:正財	丙:偏官
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申
死	墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帯	建祿

数え年大運

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
32才	33才	34才	35才	36才	37才	38才	39才	40才	41才
丙:偏官	丁:正官	戊:偏印	己:印祿	庚:比肩	辛:劫財	壬:食神	癸:傷官	甲:偏財	乙:正財
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳
建祿	帝旺	衰	病	死	墓	胎	養	長生	

月運

2016年										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
墓	絶	胎	養	長生	沐浴	冠帯	建祿	帝旺	衰	病

命式パラメータ図

●は月柱 ◎は年柱 ▲は時柱

### 四柱推命

**占星学(ホロスコープ)**

太陽 いて座 8°05' 金星(ASCO) ふたご座 21°49' 水星 いて座 8°39'R 土星 いて座 18°27' 木星 いて座 19°14' 火星 いて座 17°24' 土星 いて座 17°24' 水星 いて座 17°24' 金星 いて座 17°24' 火星 いて座 17°24'

※逆行はRが付いています。

太陽 水星 金星 火星 木星 土星 天王 海王 冥王

太陽	178°09'	30°	12	45.0	66	30°	12	27	29°V
水星	175°00'	168	195	111	177°00'	166	151A	152A	
金星	16	49	63	7	8	23	32		
火星	39	79	8	25	40	16			
木星	112	42	58*	73	16				
土星	70	54	39	95	95				
天王	16	31°V	25						
海王	14	41							
冥王	0	30	45	60	72	120	135	144	150

作用の大きい星(アスペクト出現頻度)

アスペクトの種類の出現頻度

星位記号表示 アラビックハウズ表示 印度4番表示 アズス外表示  
 トラントット表示 2016年 12月 6月 15日 15日 トラントット外表示  
 太陽 水星 金星 火星 木星 土星 天王 海王 冥王

未来予知 開じる

星平会海という奥義ソフトの画面

### 西洋占星学